



1 もみじ

「もみじ」は、秋に草や木の葉っぱが赤や黄色に変わることを行います。

葉っぱの色が変わるのは、葉っぱの中の色素に変化が起こるからです。

秋の紅葉は、植物が冬をむかえる、準備をしているのです。



2 チョウの幼虫の食べもの

アゲハチョウの幼虫は、ミカンやカラタチなどミカン科の葉っぱを食べます。

モンシロチョウの幼虫は、キャベツやブロッコリーなどアブラナ科の葉っぱを食べます。

モンキチョウの幼虫は、クローバーなどマメ科の葉っぱを食べます。

チョウの種類によって、幼虫が食べる葉っぱの種類が決まっています。



3 草の冬越し

葉っぱをつけたまま、冬越しする植物の中には、葉っぱを低くして地面に広げているものがあります。これをロゼットと呼んでいます。

ロゼットは寒い冬を生き抜くのに都合がいいのです。地面にはりついているので、北風は頭の上を通り抜けていきます。また、葉っぱがかさなり合わないようになっているので、冬の弱い太陽の光をできるだけ多く受けることができます。



←セイヨウタンポポのロゼット



↑
ヒメジョオンのロゼット



←ヒメムカシヨモギのロゼット